

総合	基本目標	I 活力あるしまね
発展	政策名	2 自然が育む資源を活かした産業の振興
計画	施策名	2 県産品の販路開拓・拡大の支援
事務事業名		県産品の販路拡大事業

1 趣旨

東京、大阪、広島、九州等の大消費地での商談会や島根フェア等を開催して県産品の取引先の確保を支援するとともに、首都圏における島根の物産や観光等の総合情報発信拠点としての「にほんばし島根館」をテストマーケティングの場として活用し、県産品の開発・改良を支援する。

また、県産農林水産物の認知度アップ向上や、契約的取引の取り組みを商談会などにより推進する。

2 事業概要

(1) 県外への販路拡大 (23,792千円)

東京、大阪、広島、九州の大消費地での商談会・島根フェア等の開催による、認知度向上・商品の定番化加えて、ホテル・飲食店等の業務筋への販路拡大を強化

(2) 東京拠点施設（にほんばし島根館）の活用 (110,212千円)

- ①テスト商品の展示・販売と消費者モニタリングの実施（テストマーケティング）
- ②季節毎のテーマを設定したイベント開催
- ③ミニフェア等の開催
県内生産者等が直接試食販売を行い、季節感と賑わいを創出
- ④新聞、雑誌等を活用した広告宣伝
- ⑤施設の維持管理

(4) 農林水産物の流通促進事業 (28,843千円)

消費者起点での商品づくり、商品改善等を通じて「売れるしくみづくり、顧客との絆づくり」をする意欲ある生産者・製造業者等を支援する。

また、県内外での商談会や、バイヤーの県内産地ツアーナどで、県産農林水産物の契約的取引の取り組みを支援するとともに、ポップなどの販促ツールを活用し県産農林水産物の認知度アップを図る。

3 事業実施主体

県

4 当初予算額

162,847千円 (県132,654千円)

【しまねブランド推進課】

[主要事業]

総合	基本目標	I 活力あるしまね
発展	政策名	2 自然が育む資源を活かした産業の振興
計画	施策名	2 県産品の販路開拓・拡大の支援
事務事業名	地産地消推進事業	

1 趣旨

「地域で生産された農林水産物とそれを主たる原料とした加工品をその地域で消費する」ことを地産地消と定義し、地域内で地元農林水産物が円滑に流通する仕組みづくりを確立する。

2 事業概要

県内生産者と量販店、飲食店や給食施設等の実需者とのマッチングの場として商談会等を開催することにより、地元で生産された農林水産物を地元で消費する「地産地消」を推進する。

- (1) 県産品展示・商談会の開催
- (2) 「しまね・ふるさと食の日」協力店における県産品の取扱拡大支援
- (3) 福祉施設等の給食施設における県産品の取扱支援
- (4) しまね故郷料理店における取扱拡大支援
- (5) 学校給食における米粉及び野菜の取扱い拡大支援

3 事業実施主体

県

4 当初予算額

11, 681千円

【しまねブランド推進課】

[主要事業]

総合	基本目標	I 活力あるしまね
発展	政策名	2 自然が育む資源を活かした産業の振興
計画	施策名	2 県産品の販路開拓・拡大の支援
事務事業名	しまね農林水産物輸出関連対策事業	

1. 趣旨

これまでの取り組みにより、台湾における「しまね」の認知度は向上し、特に県花である「牡丹」は、台湾で「富貴の花」として珍重され、県産品ブランド向上に大きく貢献している。

また、「FOOD台北」への継続出展、現地バイヤーと連携した物産展の実施等を通じ、中心的バイヤーとの関係が強化されてきた。

一方、ロットの小さい個別企業単独の取り組みの場合、流通コストや販促コストが高止まり、新たな販路開拓の継続的な取組みやノウハウの移転が十分に進まない傾向が見られている。

そこで、これまで培ってきたコネクションやネットワークを最大限に活用し、輸出対象市場ごとに「貨物量の総量増大」、「コストを抑えた流通販売システムの構築」を図り、民間を中心に自立的に輸出に取り組める足腰の強い体制づくりを進めることにより、本県産業の発展を図る。

2. 事業概要

I 食品輸出コンソーシアム育成パイロット事業（県：定額）

◎食品輸出コンソーシアムの事業内容（案）

◆一般事業

①啓発事業

- 海外現地情報の調査収集、提供
- 輸出ノウハウの蓄積、共有 など

②広報事業

- 一般広報活動、現地バイヤーへ商品紹介 など

③アドバイス事業

- 輸出プロモーターの活用

◆プロジェクト事業

- 販売促進活動の調整、実施
- 現地見本市、物産展等へ参加
- 受注の調整
- 商談会等の実施

II 県推進事業

1. 連携輸出促進活動の実施（県10/10）

◆広域県連携型PR活動の実施

◆観光部門等と連携した輸出促進活動、PR活動の実施 など

2. 新規販路開拓調査（県10/10）

◆ロシア等への新規販路開拓に必要な調査

3. 海外現地アドバイザーの活用（県10/10）

4. 产地輸出促進対策の支援（県1/2、その他1/2）

◆実務的な展示・商談会、中長期に実施するテスト輸出

◆販売促進イベントの開催、商品開発・パッケージの工夫

【事業実施期間】 平成21年度～平成23年度

3 事業実施主体

(1) 県

(2) 農業団体、任意団体等

4 当初予算額 18,000千円

【しまねブランド推進課】

[その他事業]

総合	基本目標	I 活力あるしまね	
発展	政策名	2 自然が育む資源を活かした産業の振興	
計画	施策名	2 県産品の販路開拓・拡大の支援	
事務事業名	当初予算額	事業概要	事業実施主体
県産品ブラッシュアップ支援事業（農林）	4,189千円	(1) しまねふるさと食品認証事業 個性的・伝統的な農林水産物、 加工品の品質について一定の基準 を設け認証 (2) しまね県産品支援アドバイザー 事業（農林水産業者対象） 事業者にアドバイザーを派遣し 商品の改良等を支援	県
県産品ブラッシュアップ支援事業（商工）	2,621千円	(1) 共同アンテナスペース活用事業 伊勢丹新宿店の共同アンテナス ペースで消費者モニター、テスト 販売を行い、商品の改良、認知度 向上 (2) しまね県産品支援アドバイザー事 業（商工業者対象） 事業者にアドバイザーを派遣し 商品開発・改良等を支援	県